



11月21日

公民館短期講座

干し芋を作ろう



いいなっつ農園で収穫したサツマイモ。大きすぎたり、収穫時に傷ついたりしたサツマイモを使って、干し芋を作る講座を開催しました。募集が始まってすぐに定員に達したため、お断りした方申し訳ございませんでした。



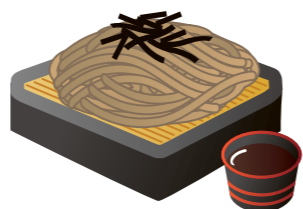
参加した14名は、蒸す・茹でるの二つの方法で加熱しました。長時間加熱することで甘さが増します。2時間程加熱し、荒熱を取り皮を剥いて切りました。次に日吉の天狗の台所で12時間乾燥して出来上がり。無添加で美味しい干し芋ができました。



12月5日

公民館短期講座

そば打ち体験



16名の受講生は、信州産二八蕎麦の香りとのどごしを楽しみました。

そば粉に水を加えながら練る作業と、のし棒で伸ばす作業は、見ていると簡単そうに見えましたが大間違い！一つ一つの作業に意味があり、説明を受けながらそば打ちをしました。大きな包丁で切る時も「細い蕎麦の方が美味しそう」とゆっくりなるべく細く切る人と、どうしても太くなってしまふ人、それぞれの蕎麦ができました。自分で打った蕎麦と、先生が打たれた蕎麦を食べ比べしましたが、「やっぱり先生の蕎麦が見た目もきれいで、美味しい」と喜んでみえました。



12月9日

斬新さと懐かしさ、心温まるクリスマスプレゼント♪

まちづくり年末イベント 絵と音楽とお話と

地元アーティストとお隣の県からお越しいただいたチェロ奏者のクリスマスコンサート。中山尚子さんの絵をステージ上に映しながら加藤純子さんの朗読。何人かの登場人物を一人で読み上げ、想像力を掻き立てられ感動しました。森山康子さんのピアノと佐藤光さんのチェロ演奏は美しい音色に心惹かれ、迫力ある演奏に圧巻でした。

チェロ奏者は休憩時間に子ども達とチェロのお話をしたり、絵本のキャラクターの服を着ていた子に、即興で絵本の曲を演奏し素敵なプレゼントをしていました。

来賓の水野市長は赤色ネクタイ、小川県議は緑色のネクタイでクリスマスコンサートを盛り上げてくださいました。



ii-nuts!!ギャラリー

1月15日～レコード展示

瑞浪市火災予防ポスター

火事は怖いですね。火災を防ごう!という気持ちがかもったポスターです。

稲津小学校4点と瑞浪南中学校5点の入賞作品を1月12日(金)まで展示中です。児童・生徒のデザインが光る作品をご覧ください。火災予防を意識していただけたらと思います。



1月の稲津さん

辰年生まれのお元気さん

安藤 省三さん (83歳) 山の田2号



定年退職し還暦を迎えた年、ちょうど興徳寺の400年祭と重なり、ここまで元気で働けたことへの感謝の気持ちを込めて記念の石碑を寄進させていただきました。また、稲荷神社の鳥居が腐食していると聞き、震度7にも耐えられる石の鳥居を寄進しました。

定年してからは、庭木の剪定や土木の仕事をつまっています。剪定は、子どものころ実家の庭に来ていた庭師の仕事を見ていて覚えました。仕上がったきれいな庭を見るのが好きです。

健康の秘訣は仕事をする事や、手を動かすことがいいと思います。食べるものでは肉が好きです。これまでに盲腸や胆石の手術はしましたが他には大病した事はなく、丈夫な体に産んでくれた父母に感謝しています。

旅行が趣味なので、今度は宇宙旅行に行ってみようと思っています。

青少年育成町民会議 標語優秀作品

テーマは「家族(家庭)」「平和」「会話」の中から好きなテーマを選んで応募していただきました。

- ・ぼくのかぞく せかいに一つの たからもの 稲津小2年 後藤 佑公
- ・帰り道 見つけた姉の背 うれしいな 稲津小5年 勝股 孝太郎
- ・メディアより 家族との時間 増やそうよ 瑞浪南中2年 鶴飼 哲平
- ・「おはよう」は 笑顔ではじまる 最初の会話 瑞浪南中3年 吉松 穂歌



入選67作品の中から4作品が優秀賞に選ばれました。公民館ホール入口付近に標語看板を設置し1年間掲示されます。

人口	11月1日現在			12月1日現在			増減
	男	女	計	男	女	計	
小里	2,062	2,093	4,155	2,061	2,089	4,150	-5
世帯数	1,725 世帯		1,729 世帯		1,729 世帯		4

地域	不燃ごみ		ビン・缶・ペットボトル・紙類・古着
	1月19日	2月15日	
小里	1月19日	2月15日	1月26日 2月21日
萩原	1月18日	2月14日	1月25日 2月21日

新しい年に

あけましておめでとうございます。清々しい新年を迎えられたことお慶び申し上げます。

令和5年は復活の年となりました。まちづくり事業、公民館事業がコロナ禍の中、自粛や規模縮小の形から徐々にではありますが従来に戻りつつあります。令和6年は継続と発展の年になればと期待します。まちづくり事業や公民館事業が前年以上の事業となるよう皆さまのご理解とご協力をお願いします。

稲津小CS(コミュニティスクール)は4年目を迎えます。瑞浪南中CSも今年4月から始まり、市内全域でCSの組織ができることとなりました。学校・地域が一体となり、子どもたちの成長のために手を取り合って活動する組織となります。組織ができて中身が伴わなければ意味がありません。稲津の特性を十分發揮して、子どもたちに何ができるか考えてみませんか。

今、時代は大きく変化しようとしています。この変化に対する答えは、今の小学生や中学生がこれから出てくるのではないのでしょうか。将来1人でも多くの子ども達がこの地に活躍していただけるか。それが答えではないでしょうか。

町民の皆さまにとって令和6年が輝かしい年であること、稲津町が子どもたちの健やかな成長を見守る地であること、子どもたちにとって魅力ある地となることを期待します。

(M)